



# さん さん 燦 燦

佐世保市立清水中学校  
学校だより 6号  
令和6年 6月 4日  
校長 榑尾 吉嗣

学校教育目標：「明るく、自ら求めて伸びる生徒の育成」

校訓：凜と在れ

生徒会スローガン：「新風」～もっと先へ～

## いのちを見つめる日（5月31日）

6月、特に6月1日は佐世保市にとって決して忘れてはならない日です。毎年各学校では、校長による「いのちの講話」が行われ、「いのち」について考え学ぶ時間が設けられています。今年度は6月1日が土曜日だったため、その前日の5月31日に「いのちの講話」を行いました。昨年度までは、佐世保市として6月を『いのちを見つめる強調月間』と位置づけ校長講話や学校開放等の取組を継続的に行ってきましたが、過去の教訓を風化させることなく胸に刻み、今までの取組を基盤としつつ、児童生徒がたくさん笑顔とともに「幸せと生きがい」を感じることを目指して『いのちかがやく強調月間』へと名称を変更しました。これまで以上に生徒たちが自分自身の生き方をよりよいものにするために、学校・家庭・地域が一層の連携を深めていきたいものです。

私は自分が感動したり力をもらったり、勇気づけられた話や映像等は、生徒たちをはじめ多くの人に伝え共有したいと常々考えています。今年度の「いのちの講話」についても、自身が勇気をもらったり、思いを再確認できた、アスリートたちの話を全校生徒ともに視聴しました。内容は、「奇跡の復活劇」、「大逆転からの金メダル」、「繋いだ一本のたすき（思い）」でしたが全校生徒の感想や思いは266通りあって良いと思います。ただそこに出ていたアスリートたちの「あきらめない」、「周囲の応援、支え」、「感謝」、「一人じゃない」、「心強さ」、「その場に立てる幸せ」などの思いや言葉に共感し、自分のこととして置き換えてくれたなら、自分自身や周りの人のよさや可能性に気づく第一歩になるのではないのでしょうか。かけがえのないいのちだからこそ、これまで以上に大切に今週末から始まる市中体においても一人一人が輝いてほしいと願います。



## ウォータースタンドが設置されました。

熱中症対策として、佐世保市からスタンドタイプのウォータースタンドを設置していただきました（市内小中学校）。保健室前の廊下から体育館へ向かう出入口に設置しています。足でペダルを踏んで冷水が出てくるタイプを想像されている方もいらっしゃると思いますが、冷水器ではありませんので常温の水が出るようになっています。浄水は、カートリッジがかなり高性能ということで、安心して飲むことができます。手持ちの水筒に水を継ぎ足すと考えていただければと思います。

この先夏に向けてさらに気温が上昇し、頻繁な水分補給が必要になってきます。水筒の水がなくなっても心配なくなりましたし、氷をたくさん入れてくるなどの工夫次第で、冷たさをキープすることも可能です。丁寧な取り扱いで、みんなが気持ちよく使っていききたいものです。



その日、その日が

「一年で最高の一日である」と心に刻め。

ラルフ・ワルド・エマーソン（思想家）

鮮明な画像等は、ホームページをご覧ください。